

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	保育園維持管理事業	担当課・係名	子育て支援課 保育園・幼稚園係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	18
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	昭和43年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	保育を適切に実施できるよう、施設の管理・修繕等を行う。				
対象 (誰を・何を)	町立保育園の施設全般				
内容	町立保育園の施設の各種修繕、設備の維持管理等				
根拠法令・条例等	児童福祉法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,147	3,242	3,331
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,147	3,242	3,331
	職員人数 (概算職員数)	人			0.36
	人件費計 (b)	千円			2,206
総事業費 (a)+(b)	千円	3,147	3,242	5,537	
事業費内訳	需用費 2,557千円、役務費 311千円、委託料 437千円、使用料及び賃借料 16千円、原材料費 10千円				
H 25 年度					

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 国府保育園施設面積	m ²	716	716	716
	②				
活動指標 (活動量)	① 国府保育園委託料・修繕料総額	千円	827	851	970
	②				
成果指標 (達成度等)	① 1m ² あたりの委託料・修繕料	円	1,155	1,188	1,354
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	保育園の運営主体が実施することが適切と考えられるため妥当。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	一部委託することにより、設備維持が図られている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	運営上、影響がでにくい状態を保つことはできているが、施設が老朽化しており、修繕箇所が増えている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	老朽化により、予期せぬ修繕が多くなってきている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	修繕箇所の増加等もあり、コストの削減が難しい。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 施設の老朽の問題もあり、今後大規模修繕が必要となってくる。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	修繕箇所の精査し、必要であれば大規模修繕も検討する。
② 平成26年度に着手する事項	施設修繕の計画を立てる。
③ その他（課題、調整事項等）	大規模な修繕が必要な場合、現状の施設を使用しながら行うことができるか。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

施設の修繕計画を立てるとともに、子ども・子育て支援新制度施行に向けて、今後の保育園の施設維持等について検討を行う。
